

授業科目名	女性生殖器疾患患者の看護 感覚器疾患患者の看護	担当者	山本 扶美江
単位	—		
時間数	10時間	学年	1学年
授業形態	講義	開講時期	後期
授業の到達目標	疾患、病態を把握し、日常生活の援助と診療時の補助技術について学ぶ。経過別看護を理解し、援助技術を学ぶ。		
授業の概要	女性生殖器疾患では、治療方針が患者のライフサイクルに影響を及ぼす。患者の社会的役割を理解し、治療が円滑に行われるように支援する方法などや感覚器疾患看護は、感覚器の障害や疾患に対する看護について教授する。		
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1. 共通する看護 経過別看護、外来・入院・退院・継続・在宅看護、精神的援助 感覚器疾患の看護の基本、感染対策 2. 症状に対する患者の看護 3. 診察・検査を受ける患者の看護 4. 治療・処置を受ける患者の看護 5. 女性生殖器疾患患者の看護 6. 感覚器疾患患者の看護 		
テキスト	新看護学11 成人看護[3]、新看護学12 成人看護[4] 医学書院		
評価の方法・基準	筆記試験(100点)		